

平成26年度 第3回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成26年9月4日 15:00～17:00

場所：当別町役場 第二庁舎 2階 会議室

出席委員 16名、欠席委員 6名、オブザーバー 2名、随行者 1名

1 開会（司会：館田事務局長）

2 会長挨拶（増輪会長）

本日は、大変お忙しい中、平成26年度第3回の当協議会に出席いただき、ありがとうございます。  
本日の議題は、懸案でございました市街地循環線におけますデマンド型のバス交通。これは、年度当初より皆様方にお諮りし、事業として認定していただいた部分でございます。いよいよ11月からの実証運行に向けて皆様ご審議いただきたく思います。

3 報告

（1）当別町コミュニティバス平成26年度7月までの実績について

事務局（長谷川美しいまちづくり課長）

資料1-1, 1-2に基づき説明。

まず、資料1-1をご覧ください。

市街地循環線のグラフですが、非常に利用者数が落ち込んできています。4～7月の前年比で165人の減少となっています。

次に西当別・あいの里線のグラフですが、平成25年度比で982人の増加となっています。

また、金沢線のグラフについても、平成25年度比で1,111人の増加となり、こちらの2路線については、利用者数が増加しています。

青山線のグラフは、非常に厳しい状況にありまして、特に6月の落ち込みが厳しく、平成25年度比で、544人の減少となりました。

資料の2枚目になりますが、利用者数を全体的に見ると過去4年間の中では最も良い数値が出ています。ただし、市街地循環線と青山線については、悪化してきています。

次に収入状況になりますが、4月の収入が大変落ち込んでおり、平成23年度から4月の毎年落ち込んできています。4月は、応援券を購入する人が多い時期になりまして、これが年々落ち込んでいます。

資料1-2をご覧ください。

平成23年度からの年度別の運行収入表ですが、各年度の応援券の売上金額を参照しますと、4月は、1,025,700円で100万を超えていますが、24年度は、632,800円、平成25年度は、560,900円、平成26年度は、454,900円となっており、応援券の落ち込みが非常に影響してきています。

平成25年度比でも若干落ち込んでいます。

総体的に見ますと利用者数は、増加し、収入が減少しているため、利用者増加の多くは、無料対象者である大学生と通院者の増加と考えられます。

## (2) 当別町コミュニティバスあいの里金沢線あいの里教育大駅のバス停の移設について

事務局（長谷川美しいまちづくり課長）

資料2に基づいて説明。

札幌市北区土木部維持管理課からあいの里教育大駅の敷地内のバス停の移設要望がありました。

2枚目の図面をご覧ください。

あいの里教育大駅東側に現在設置しているが、現在と反対側の西側に一般乗降場あるので、そこに移設して欲しい旨、要望をうけました。

経緯は、札幌市北区にある拓北・あいの里連合町内会から札幌市北区土木部維持管理課に移設要望したことでありまして、その理由は、現在のバス停周辺において、通勤・通学時の一般乗降車両の渋滞及びタクシー乗り場が近く、非常に輻輳していることから札幌市としても利用者の安全性を確保するため、移設要望がありました。

バス停の移設については、樹木等の撤去経費が発生するが、費用は札幌市が負担する。

バス停移設についての当協議会の対応（案）ですが、札幌市北区土木部維持管理課から許可を得て設置しているものであり、移設場所も同じ敷地内で設置条件も変わらないこと、また、地域住民からの要望がある以上、やむを得ないと判断し、バス停の移設を実施したいと思います。

現在のバス停には、年間7,000人の利用がありますことから平成26年12月1日ダイヤ改正の時刻表の配布に合わせてバス停移設の周知もしますし、あいの里教育大駅周辺住民に札幌市の協力を得てチラシを配布します。また、JRあいの里教育大駅内にもチラシを掲示するようJRに依頼します。

質疑なし

提案のとおり承認

## 4 議事

### (1) 当別町コミュニティバス市街地循環線におけるデマンドの実証運行について

事務局（大石美しいまちづくり係長）

資料3に基づいて説明。

2ページ目ですが、市街地循環線の基礎データでございますが、市街地循環線は、昇順及び降順共に6便合計12便の運行となっております。運行日は、土日祝日を除いた平日のみの運行であり、1年間の経費は、約600万円となっております。運行の路線及び時刻は、資料のとおりです。

3ページの乗降客データとして平成18年の合計利用者数は、10,857人であり、年々利用者数は減少していき、平成25年では、4,503人と約6,300人減少しました。

利用者数の日平均・便平均についても資料のとおりです。

この度実証運行する運行形態は、乗降地点を固定し、経路を自由にし、ダイヤに時間幅を持たせる形態で実施します。資料でいうと になります。

デマンド交通を既に導入している事例を3つ説明いたします。

初めに帯広市大正地区の「あいのりタクシー」についてですが、帯広市内から離れている大正地区の足を確保するためのバスであり、元々は路線バスが走っていたが、利用者減少により代替バスとなりました。予約制で大正地区エリアから帯広の市街地までの乗降が可能であり、料金は500円。便数は、1日7便です。

次に長沼町の事例ですが、こちらも利用者減少に伴い、デマンドに切り替えた経緯があります。

長沼は、最寄のJRが栗山駅しかなく、利用者のほとんどが通勤・通学の固定客である。

料金は、200円。便数は、北部地域は5便、幌内・西6線・千歳橋線地域は4便で、その時間内に指定場所に乗降させます。

最後に北見市ですが、北見市は、定時定路線と利用者の少ない地域を予約型のデマンドにしており、

デマンドについては、バス停がないため、自宅付近の道路で乗降しています。料金は、400円。便数は、1日7便。

次に当協議会の実証運行についてですが、利用者のデータを分析した結果、一番利用者が多い時期は、12月であり、その月の多い便でも4.4便/日が最大です。

次に市街地循環線の利用者から【もしも、市街地循環線を「事前に電話予約が必要だけでも、自宅付近まで迎えに来る」形態（乗合タクシー）に変更することについて、どのように思いますか？】を題にヒアリングをした結果ですが、賛成及び変更しても仕方ない人が2/3となり、ご理解をいただいたと思っていますので、今年度実証運行を実施したい。

実証運行の内容ですが、

実証運行期間は、平成26年11～12月

運行曜日は、平日のみ

運行便数は、8便

運賃は、1回200円（ふれあいバスの料金形態に準ずる）

運行エリアは、西町・北栄町・春日町・東町・緑町・元町・白樺町・園生・錦町・弥生・末広  
・美里・幸町・下川町・栄町・樺戸町の既存市街地循環線が運行しているエリア

運行方法は、・自宅から指定の施設

・指定の施設から指定の施設

・指定の施設から自宅

指定の施設は、駅・公共施設・医療機関・バス停

実証運行の期間は、データを効率良く取得するために、通常の市街地循環線を休止させます。1月からはまた再開させます。

運行便数と予約締め切り時間については、

- ・1便目：7：00～8：00【予約は、前日の18時まで】
- ・2便目：8：30～9：30【予約は、前日の18時まで】
- ・3便目：10：00～11：00【予約は、当日の9時まで】
- ・4便目：11：30～12：30【予約は、当日の10時30分まで】
- ・5便目：13：00～14：00【予約は、当日の12時まで】
- ・6便目：14：30～15：30【予約は、当日の13時30分まで】
- ・7便目：16：00～17：00【予約は、当日の15時まで】
- ・8便目：17：30～18：30【予約は、当日の16時30分まで】

予約受付時間は、平日8時30分から18時まで

土日を挟む場合は、当日の前の週の金曜日（金曜日が休日の場合は木曜等）になります。

次に指定の施設についてですが、市街地循環線のエリアであり、駅・公共施設・医療機関・バス停のみとさせていただきます。

駅

- ・石狩当別駅

公共施設

- ・当別町役場・当別小学校・当別中学校・当別高校・総合体育館・ふくろう図書館・ふれあい倉庫
- ・ゆとろ・当別郵便局

医療機関

病院

- ・さわぎき医院・勤医協当別診療所・堀江病院・近藤医院・とうべつ内科クリニック
- ・おくやま内科外科クリニック

歯科

- ・当別歯科クリニック・当別駅前クリニック田西歯科・くろさわ歯科クリニック・戸田歯科
- ・しらかば歯科・扇谷歯科医院・江口歯科医院

## バス停

- ・エリア内のバス停留所

## 利用者の流れ

### 利用予約

利用者は、帰りの便も含めて 月 日 便と予約します。

### 確認

到着 30 分前位に運行事業者からコールバック（到着予定時間）を受けます。

### ご自宅（指定の施設）

自宅前及び指定の施設前で乗車します。

### 目的地へ

相乗り・時間指定不可

### 目的地到着

当初の予約時間変更したい場合は、予定便 30 分前までに連絡します。

### 目的地出発

ご自宅（指定の施設）へ

ご自宅（指定の施設）到着

## デマンドバス実証運行に関わる周知

- ・全町民への周知

ポスター A 1 サイズ作成・・・公共施設掲示

チラシ A 3 サイズ作成・・・全戸配布

ニューズレター A サイズ作成・・・新聞折込

## デマンドバス実証運行スケジュール

- ・ 10 月頃～チラシ・ニューズレター・ポスターの配布及び掲示
- ・ 11 月頃～デマンドバス実証運行開始
- ・ 12 月頃～デマンドバス実証運行終了
- ・ 1 月頃～結果分析・対象エリア住民へのアンケート調査
- ・ 2 月頃～ニューズレター配布

## 質問は以下のとおり

### 提案どおり承認

### 横関委員

確認になりますが、駅・自宅・医療機関・既存バス停にのみの停車でよろしいか。

### 事務局

予約型になっているので、指定されたエリア内の自宅及び指定の施設であれば可能とします。

例えば行きは、自宅から駅、帰りは、駅からゆとろでも可能です。

### 横関委員

先程の説明で実証運行中は、市街地循環線バスを休止させるということだが、既存のバス停にも停車することでいいのか。

### 事務局

通常市街地循環線は、運行していないが、既存バス停を停留所とします。

横関委員

実証運行期間を11～12月にした理由は。

事務局

先程資料で説明したが12月が一番利用者の多い時期であり、その周知期間等考えていくと11月から開始した方が効率良く実証運行できると判断しました。

下段委員

自宅で乗降できるのは、いいが、玄関前なのか。道路まで出でてもらうのか。

事務局

基本的には、ご自宅前までと考えています。しかし、状況によっては、いけない場合もあると思われるので、自宅付近と表現させていただきたい。

下段委員

表現には、統一を持たせた方がいいのでは。利用者毎に異なれば不満がでる。

事務局

あくまでも10人乗り以上のバスで運行しますので、バスが自宅までたどり着けない場合だとかバスは基本後方走行しませんので、運行車両にあった運行方法と考えています。

下段委員

乗継した場合の料金はどうなるのか。

事務局

デマンドバスは、1回200円なので、あいの里金沢線及び青山線の乗り継ぎでも200円と、市街地循環線なので、無料チケットはないし、応援券等は、利用できるようにします。

大口委員

デマンドバスの説明を聞いても理解が難しい。しかも一番利用される時実証運行は、混乱を招く恐れがあるので、利用者数の少ない時期で実施した方がいいのでは。

事務局

利用者は多いのですが、1便あたりの人数が1.5人と説明したとおり非常に少ないです。資料では、多く見えるが、12月の多い便でも4.4人です。その利用者の多くは、固定客であることからバス停にも停留しますし、周知も徹底して実施します。福祉分野の方達にも周知が必要と考えており、定例会等の集会時にお邪魔して説明していきます。

野村委員

デマンドバスを導入する目的は、費用削減が主目的なのか、利用者の利便性向上なのか。今の説明を聞いていると今利用されていない方々に対してどうやって普及していくのか。固定客が多いから個別に説明は理解できるが、この導入により新たな利用者の開拓は考えているのか。分析をしているのであれば、4～10月が少なく、11～3月までが多いのかの理由はなにか。季節だけの問題なのか。

事務局

季節柄として捕らえていました。このデマンドバス導入は、経費削減を目的ではなくて、1便当たり1人には問題があると認識しているので、何か解決策ということで、デマンドバスの導入に至りました。

例えば地域の会合等に行くときは、集まっていける等の色々方法があると考えています。

大口委員

説明では、この指定された施設以外はいけないということだが、やはり買い物客への対応は、必要だと思う。特に商店街へもありにしているだろうか。

事務局

タクシー事業者とのすみわけが非常に難しく、あくまでもバス事業ということで運行しますので、自由に指定された場所に行ってしまうとタクシーと変わりなく、当然運行するには、運輸局に申請して許可をいただかなければならない。ただ、そういった意見を無下にはできないので、例えばラルズマートに行くには、最寄のバス停で停車できるようにしてあります。

下段委員

昔ラルズ線を市街地循環線に含めて運行していた時期があったが、ほとんど利用者がいなかった経験がある。

大口委員

時刻が決まっていれば路線が自由であれば、自由に乗降できた方が買い物客などの利用者は、増えると思う。

事務局

乗降場所に商業施設は、検討したのですが、タクシーとのすみわけが難しく、許可等の件もありましてこの度考えたのが、既存のバス停を利用できることにしましたので、大手のスーパーなどは、網羅されていると考えています。しかしながら、利用者の意見も重要となりますので、色々な意見を踏まえて本格運行を目指したい。今回はあくまでも市街地循環線の既存のバス路線の代替運行という位置付けになりますので、この度は、この内容で実証運行させていただきたい。また、実証運行なので、運行事業者側も初めて行うことであり、目的地を明確にしなければ運行経路も難航しますので、運行上の支障も考慮して考えております。

五十嵐委員

デマンド実証運行で結果を分析した後に現行の市街地循環線に戻ることはないと思ってよいのか。

事務局

今回の実証運行の分析が終わるのが、2月頃であり、4月からの本格運行については、期間が足りない。例年6月に協議会を開催しているので、その中で本格運行の検討したいと考えている。

五十嵐委員

意見として、ずっと利用状況が伸び悩んできた市街地循環線をデマンドの実証運行してまた現行に戻すとなると意味がないと感じる。

横関委員

予約しないでバス停で待っている人がいたらどうなるのか。

事務局

あくまでも予約制なので、指定の施設で待っていても予約していない人は、利用できない。

横関委員

現在町内のタクシーは、下段さんと平ハイヤーのみです。この状況の中で、定時路線がなくなるのは、かなり厳しいと思われる。

事務局

事務局としてもタクシー事業者と調整しており、9月頃から新たにタクシー事業を実施する事業者の情報もありましたので、11～12月には開始してくれるものと期待しております。

山下委員

金融機関が郵便局しかない。駅だと農協があるが、信用金庫だとかもあるので、金融機関は、指定の施設に入れてみてはどうか。

事務局

道路状況や乗降場所も踏まえて検討させて下さい。

堤委員

2ヶ月間の実証運行の結果を踏まえて、来年度10月以降の本格運行と説明あったが、当別町の厳寒期である1~3月に実証運行しないで、本格運行できるのか。

事務局

ご指摘ありがとうございます。運行事業者と協議していく中で、検討していきたいと思います。

高橋委員

今回の実証運行の期間を2ヶ月にしたのは、何か制約があるのか。

事務局

実証運行の期間は、北海道開発技術センターに当別町として発注している委託事業の中で、実証運行したことの分析をしていただくことになっておりますので、実証運行を1~3月までしてしまうと分析時間がなくなってしまいます。行政の会計上年度となってしまうことから今年度中の延長は困難である。また、手続きの関係で、延長する場合は、2ヶ月前の申請となるので、11月には延長の申請をしなければならない。

樋口委員

町外の方で市街地循環線を利用される方は、どのくらいいるのでしょうか。

また、周知活動のところで、1月から市街地循環線に戻すのであればその周知も必要だと思う。

事務局

太美の高校生が、あいの里金沢線から市街地循環線に乗り換えて高校に通うのは聞いているが、町外の方は、ほとんどいない。

周知活動については、おっしゃるとおり準備させていただきます。

汐川委員

周知活動する際のイラストには誤解の無いよう気をつけてみてはどうか。

事務局

チラシ等の作成の際には十分気をつけます。

三浦委員

予約制ということだが予約の受付場所及び運行経路は、どこになるのか。

事務局

実証運行中は、運行事業者の方で電話対応・運行経路作成を実施させていただきます。

## (2) 平成26年12月1日ダイヤ改正について

事務局(長谷川美しいまちづくり課長)

資料4に基づいて説明。

JR学園都市線が平成26年8月30日付けで改正しまして、JRの時刻に合わせてバスのダイヤを作成しておりましたので、若干現時刻と合わない便があります。冬期間ダイヤについては、平成26年2月7日付けの平成25年度第3回当協議会で承認いただいておりますが、別紙資料のとおり

改正させていただきたく思います。

質疑なし

提案どおり決定

## 5 その他

### (1) 今後のスケジュールについて

事務局（長谷川美しいまちづくり課長）

資料5に基づいて説明。

先程説明しておりますが、11～12月までデマンド実証運行及び既存市街地循環線休止。12月1日にダイヤ改正し、1月には市街地循環線を再開させる。また、1月には平成27年度予算と実証運行の結果報告と太陽光発電を活用したバス事業の内容を改めてご説明します。なお、例年どおりでいくと6月に協議会を開催しますので、皆様におかれましては、次の協議会は、1月となっております。

野村委員

6月の協議会でデマンドバスの本格運行検討となっているが、承認された際の本格運行はいつを想定されているのか。

事務局

バス年度は10月からなので、早ければ10月を予定していますが、当協議会のダイヤ改正は、12月1日で行っていることもあり協議会の検討結果によっては、12月になるかもしれません。

会長

貴重なご意見ありがとうございます。

デマンドバスの実証運行について、住民の方達に興味を持っていただけるようアピールを頑張っていきたい。

以上持ちまして協議会を終了させていただきます。

本日は、ありがとうございました。

## 7 閉会（増輪会長）